

日中国交正常化に尽力した南砺市福光地域出身の政治家・松村謙三に関する資料を目録にまとめ、デジタル化して保存する取り組みに、大東文化大(東京)の武田知己教授らが乗りだした。市松村記念会館が保管する段ボール箱約30個分の書簡や日記、原稿などの調査を始めた。2021年8月の没後50年をめぐり、市内や東京の子孫方にある資料も含め完了を目指す。

福光出身の政治家 松村謙三

武田教授によると、農相や文相などを歴任した松村謙三の関連資料は目録がなく、研究者にとって利用しづらい。武田教授の発案で、市松村記念会館や松村の子孫、旧民政党時代の松村の



資料を目録に デジタル保存

大東文化大・武田教授 21年完了目指す

資料を持つ櫻田会(東京)などの協力を得て、資料の目録作成とデジタル化を進めることとなった。既に武田教授は、南砺市福光新町の松村の生家と、東京・中野区の松村家、松村の秘書を務めた四男進氏の家から、段ボール箱で計約20個分の資料を大学の研究室に運び、目録の作成をほぼ終えた。8日まで市松村記念会館の資料整理に当たり、11月下旬にも再び訪れて目録を仕上げる。

武田教授は市松村記念会館の資料について、松村が政治の師と仰いだ旧民政党総裁の町田忠治の書簡など「解明されていないものたくさん残っている」とし、整理後の研究進展に期待する。「将来的には南砺と東京にそれぞれ資料を保管、公開できる場所ができるといい」と話した。作業には、松村の孫の濱本なほ子さん(65)＝東京・中野区＝や学生も加わっており、濱本さんは「農地改革に奔走するなど松村の功績が大きいことを広く知ってほしい」と述べた。

市民大学で講演

武田教授は6日、市福光福祉会館で開かれた市民大学前期講座で「太平洋戦争への道と日本の過誤」と題して講演した。

松村の資料整理に当たる武田教授(左)ら関係者
＝南砺市松村記念会館

12月に提出先送り

公共施設利用料金見直し条例案

南砺市議会全員協議会

南砺市は、市議会9月定例会で予定していた公共施設の利用料金見直しの条例案の提出を、12月定例会に先送りすることを決めた。6日の市議会全員協議会で報告した。市側は、公共施設に入居する4スポーツクラブと会員の料金設定の協議が整っていないことなどを理由に挙げた。

市側は、利用料を減免する団体が明確になっていないことや、類似施設間で部屋の貸し出しのルールなど運用方法が統一できていないことも、先送りの理由として説明した。2020年4月からの新料金の運用は変えない方針だ。

7月に大阪府門真市で開かれた「門真国際映画祭2019」の観光映像部門で、南砺市を舞台とした林弘樹監督の作品「懐かしき未来への旅 in 南砺」が優秀作品賞を受賞した。6日に田中幹夫市長が市役所福野庁舎で記者会見で明らかにした。

南砺舞台の作品 優秀賞

大阪の門真国際映画祭

映画祭は5部門で、うち観光映像部門は商業作品以外の映像を対象に、今年から新設された。市によると「懐かしき未来への旅 in 南砺」は、2015年にア

シア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」の特別賞も受賞している。

田中市長はこのほか、10日に市福光体育館で、ロンドン五輪の卓球女子団体の銀メダリスト平野早矢香さんを講師に招いて卓球教室を開くとした。東京五輪・パラリンピックの応援プログラムとなる。

車のドアが開かない想定で救助方法を確認する消防隊員
＝富山市松浦町



県技術専門学院 技術者の訓練体験

オープンキャンパス

県技術専門学院のオープンキャンパスⅡ写真Ⅱは6日、富山市の同学院で開かれ、県内22高校の2、3年生58人が技術者を目指す訓練を体験した。

参加者は自動車整備、メカトロニクス、電子情報の3学科に分かれ、機械制

御プログラ、アイコンの操作。自動車整

気を取り出す実験などを通じて、科学の面白さに触れた。

大門 高校生徒が 科学の面白さ 体験

県立大で講義 実験

県立大の高校生向け科学技術体験講座は6日、射水市の同大射水キャンパスで開かれ、大門高情報コースの2年生37人が水素から電

講座では、アを取り出してや、太陽光電池でコンクリ

製造現場を見学 建設業の魅力体験 県が高校生向けツアー 県の「建設のプロに会いに行こう 高校生のための現場見学ツアー」写真Ⅱは6日、射水市などで初めて行われ、高校2年生3人が部材の製造から設計、施工といった土木構造物が完成するまでの工程の現場を訪れ、建設業の魅力に触れた。高岡市で

事作業を県が、高松を職業の選択でもらおうと

